

信太山丘陵（大阪府）の植物相について

人間環境大学・環境保全 藤 井 伸 二

On the flora of Shinodayama Hills, Osaka. Shinji Fujii (*University of Human Environments*)

The flora of Shinodayama Hills were surveyed and recorded 545 native plant species with 154 introduced or escaped species. Endangered plants of Japan were found 26 species, that of Kinki District were 49 and that of Osaka Prefecture were 58. The high number of endangered species confirmed this area as one of the hot spots in Osaka. Important habitats for endangered plants were poor/rich-nutrient marshes and shallow water, then the two habitats as paddy fields and 'Satokusa' were following. The unique combination of these habitats in Shinodayama Hills may be formed through the harmonious linkage of geological structure, erosion in geological time and construction of irrigation ponds.

Key words: endangered plants, flora, habitats, Shinodayama Hills

要旨：信太山丘陵の植物相について再検討を行った結果，545の在来植物と154の外来または逸出植物を記録した。絶滅危惧植物については，全国レベル26種，近畿レベルは49種，大阪府レベルは58種を記録した。絶滅危惧植物の豊富さから，この地域が大阪府におけるホットスポットの一つであることを確認した。絶滅危惧植物の生育環境として，貧栄養湿地・富栄養湿地・水域の3環境が重要で，水田と里草の2環境がそれらに次ぐことが明らかになった。これらの生育環境の独特の組み合わせは，信太山丘陵における地質構造，地史的経過による浸食作用，灌漑溜池の造営などが調和的に作用したことによって形成されたものと推測される。

キーワード：植物相，在来植物，絶滅危惧植物，信太山

はじめに

大阪府和泉市の北東部を中心に広がる信太山丘陵（図1）の植物については，湿地・ため池・草地といった環境に生育する植物群の豊富さが古くから注目され，数多くの報告がある（辻本ほか，1961a, 1961b；堀，1962；植野，1972；清水，1990；桑島，1990；清水・田丸，2007）。なかでも，モウセンゴケ類*Drosera* spp.やミミカキグサ

類*Utricularia* spp.などの食虫植物，ガガブタ*Nymphoides indica*やジュンサイ*Brasenia schreberi*をはじめとする水生植物，シンジュガヤ類*Scleria* spp.やその他のカヤツリグサ科植物Cyperaceaeを含む湿生植物群，ホシクサ類*Eriocaulon* spp.やテンツキ類*Fimbristylis* spp.といった溜め池の干出泥底に生育する小形植物群，キキョウ*Platycodon grandiflorus*やウンヌケモドキ*Eulalia quadrinervis*などの草地植物といった各植物群に

によって特徴づけられることが指摘されている（辻本ほか, 1961b; 堀, 1962; 植野, 1972; 清水, 1990）。一方、樹林については、アカマツ *Pinus densiflora* の優占する貧弱な灌木植生が卓越して見るべきものに乏しいが、かつてはツツジの名所として知られていたようである。

信太山丘陵は都市近郊に位置するため、貴重植物については上述の先行研究によって1960年代にはすでによく把握されていた。例えば、府下では信太山のみから知られている植物として、ヤマトホシクサ *Eriocaulon japonicum*, ミスミイ *Eleocharis acutangula*, ミカヅキグサ *Rhynchospora alba*, カガシラ *Scleria caricina*, ケシンジュガヤ *Scleria rugosa* があげられ、このほかにもコバナノワレモコウ *Sanguisorba tenuifolia* var. *parviflora*, ヒナノカンザシ *Salomonina ciliata*, ムラサキミミカキグサ *Utricularia uliginosa*, クロホシクサ

Eriocaulon parvum, ヒナザサ *Coelachne japonica*, アンペライ *Machaerina rubiginosa*, ミカワシンジュガヤ *Scleria mikawana* などの府下希産種が記録されている。一方、植物相の全容はごく最近まで未解明の状態が続いていたが、清水（1990）によってようやく包括的な概要が明らかにされた。本研究では、こうした先行研究の情報の統合と整理を行い、さらに新規情報の追加を行うことで、信太山丘陵の植物相のより詳細な把握と植物相研究の課題を明らかにすることを目的とした。また、絶滅危惧植物について他地域との比較を行い、信太山丘陵の植物相が有する保全生物学的価値の評価を試みる。

本稿は、2009年10月18日に開催された関西自然保護機構主催のシンポジウム「信太山丘陵の保全と活用」において発表した内容の基礎データである。発表の機会を与えてくださり、シンポジウム

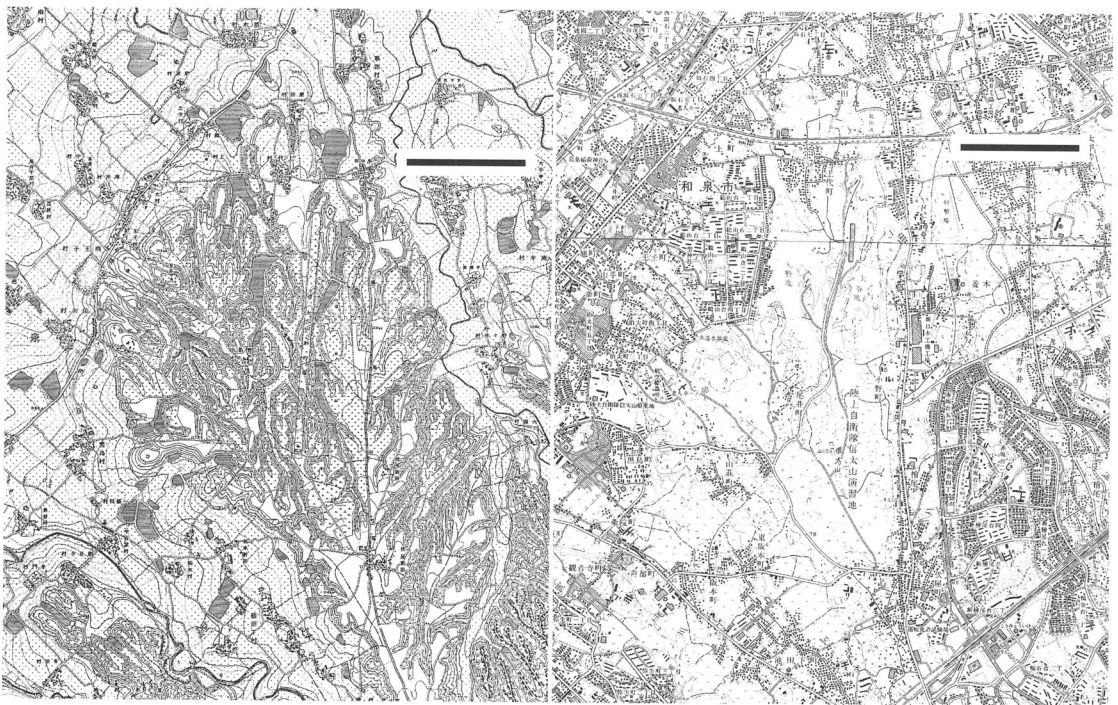


図1. 信太山丘陵の地形と開発による変化（左：明治末期，右：1980年代）。スケールは1 km.

の企画運営をされた関西自然保護機構会長の石井実博士に感謝したい。本研究を進めるにあたり、大阪市立自然史博物館の内貴章世博士には標本閲覧と文献閲覧のお世話を頂いた。兵庫県立人と自然の博物館の藤井俊夫氏には文献に関するご教示を頂いた。また、瀬戸 剛氏、平野弘二氏、清水千尋氏、故桑島正二氏には、信太山の植物に関するご教示や現地調査にご協力を頂いた。ここに記して感謝を申し上げる。

調査方法

以下に列記した方法によって、植物種情報の統合と整理および疑問種の再検討、絶滅危惧植物の抽出を行った。さらに、他地域とのフロラの比較および絶滅危惧種数の比較を行った。

- 過去の文献調査：辻本ほか（1961a, 1961b）、堀（1962）、植野（1972）、清水（1990）、桑島（1990）、清水・田丸（2007）、みどりのトラスト協会（2009）の各文献を参照した。
- 現地調査：1994～1997年、2000年、2009年にわたって約15回実施した。
- 標本調査：過去の文献記録に疑問のある分類群については、大阪市立自然史博物館に収蔵されている標本について再検討を行った。
- 他地域との比較：梅原ほか（1989）、藤井（2008a, 2008b）、ささやまの森公園編（2008）の各文献を参照し、在来種数の比較を行った。
- 絶滅危惧植物の抽出：環境庁編（2000）、レッドデータブック近畿研究会編（2001）、大阪府編（2000a）の各文献を参照した。また、桑島（1990）と波江野ほか編（2004）を元に、大阪府における保護上重要な地域（レッドデータブック近畿研究会編、2001）から記録された絶滅危惧植物の種数比較を行った。

結果と考察

文献調査の結果、1960年代にはすでに130種と229種の記録がなされ（表1）、この頃には信太山の植物相の特性や貴重種はほぼ把握されていたと考えられる。桑島（1990）は、こうした先行研究において収集された標本を調査して「大阪府植物目録」をまとめた。清水（1990）は、桑島（1990）の情報をふまえた上で1970年代から自身が収集した標本や現地調査に基づいて、在来・帰化植物を合わせて561種類を報告した。今回の調査において、表1に示した文献に記録された種をすべて統合し、さらに同定や分類学的問題について再検討した結果、未同定分類群も含めて総計669分類群をリストすることができた。過去に記録がありながら誤認と思われるものや今後の再検討が必要な分類群については（表2）、末尾に付した目録の当該分類群の項で詳述した。669分類群の内訳は、在来植物は545種、帰化植物または栽培からの逸出と考えられる植物は154種であった（表2）。後者には、1990年代以前の調査では確認されておらず、2000年代になってから惣ヶ池湿地およびその周辺でみいだされたハンゲショウ *Saururus*

表1. 信太山の維管束植物相の記録

文献	記録種数
辻本他（1961a, b）	130
堀（1962）	229
上野（1972）	33
清水（1990）	561
清水・田丸（2007）	308
トラスト協会（1999～2001）	121
桑島（1990）、大阪府（2000）、藤井（～2009）	282*
上記の集計結果	669

*桑島（1990）に、その後の標本情報を加えて大阪府編（2000a）を作成。さらに、その後の藤井の標本調査データを加えた。

表 2. 信太山の維管束植物の概要

	地域	種数	備考
在来種	信太山	545	要再検討分類群：タヌキモ、フサモ、トコロ類、アオスゲ類
	周辺域	9	
帰化・逸出	信太山	154	記録種数は今後も増え続けるだろう
	周辺域	24	
誤認と思われる分類群		5	アメリカカサネム、ヒメビシ、サワフタギ、マメダオン、オナモミ

表 3. 地域別の在来維管束植物の種数

	信太山	大和川下流	三田市フラワータウン	天野山	ささやまの森
在来種数	545	139	437	582	676
調査面積 (ha)	約600	約300	84	225	255
出典	今回の調査	藤井(2008a)	藤井(2008b)	梅原他(1989)	ささやまの森公園(2008)

*chinensis*も含まれている。また、信太山の周辺地域である堺市原田、草部、菱木についての分布記録を「大阪府植物目録」(桑島, 1990)と「堺市植物目録」(堺植物同好会編, 1998)から抽出し、末尾の目録に番号を付さずにリストした。周辺地域から記録されたのは在来植物9種および帰化植物24種(表2)で、これらの種類は今後の調査によって信太山地域から見いだされる可能性が高い。

信太山から記録された在来植物545分類群という数値については、調査環境、調査面積、調査努力、分類群の認識、などの問題があるので他地域との単純な比較はできないが、参考として大阪市住吉区大和川、河内長野市天野山、兵庫県篠山市ささやまの森、三田市フラワータウンの研究例を表3に示した。それぞれの調査地の様子は、大阪平野の中央を人工的に掘削して造られた大和川とその周辺域、三田盆地(兵庫県)を切り開いて造成されたニュータウン、和泉山脈のすそ野にあたる二次林を中心とした天野山地域、深山(標高790.5m)の北西斜面に位置するささやまの森公園、などとなっている。信太山から記録された在来植物545種は、山地森林環境のささやまの森における676種には遠く及ばないものの、天野山や

三田フラワータウンといった比較的山がちな環境の在来種数にほぼ匹敵する。このことは、ほぼ完全に開発し尽くされた平野部である大和川下流域の在来植物相と比べることで際だっている。都市近郊の低平な丘陵にもかかわらず、多くの在来植物を擁する信太山の植物相の豊かさを指摘してよいであろう。

信太山から記録のあるレッドデータブック掲載種数の内訳は、環境庁RDB掲載種26種、近畿RDB掲載種49種、大阪府RDB掲載種58種であった(表4)。これらの数値は、大阪府に分布する環境庁RDB掲載種の20.2%、近畿RDB掲載種の15.1%、大阪府RDB掲載種の14.3%をそれぞれ占めており、信太山は府下でもとくに注目すべき存在であることが明らかになった。また、大阪府RDB掲載種のうち、シソクサ *Limnophila aromatica*、ヤマトホシクサ、ミスミイ、ミカヅキグサ、カガシラ、ケシンジュガヤ(マネキシソジュガヤ)の6種が信太山のみで記録されていることは特筆すべき事実である。レッドデータブック近畿研究会編(2001)は大阪府の保護上重要な地域として9ヶ所を挙げており、その一つが信太山である(図2、表5)。これら9ヶ所の地域について、大阪府RDBと近畿RDB掲載種の記録をそれぞれ集計したのが表5である。近畿RDB掲載種に関しては、50種以上が記録されたホットスポットは能勢町北部、金剛山、生駒山～室池の山地環境に限られている。次いで、信太山丘陵、京阪奈丘陵、和泉葛城山の3地域では40～50種が記録されている。京阪奈丘陵は生駒山北麓をふくむやや山地がちな環境だが、信太山丘陵是和泉山脈から切り離された低平な環境であり、山地環境をまったく含まない信太山丘陵において49種もの絶滅危惧種が記録された事実は驚きである。この数値は、山頂部が国指定天然記念物となっている和泉葛城山地域のRDB掲載種数に匹敵しており、

あらためて信太山丘陵が大阪府における絶滅危惧植物のホットスポットの一つであることが確かめられた。残念なことに、信太山だけに生育記録のあるミスミイ、ミカヅキグサ、カガシラ、ケシンジュガヤ（マネキシシジュガヤ）はすでに大阪府下から絶滅したとされている（大阪府編，2000a）。大阪府の種多様性をこれ以上減少させないためにも、信太山の植物相の保全は急務といえるだろう。

絶滅危惧植物からみた信太山の環境特性を明らかにするため、近畿RDB掲載種49種の生育環境の解析を行った。生育環境の類型化についてはレッドデータブック近畿研究会編（2001）に従い、複数の環境に生育する種については重複を許して計算した結果が図3である。この図から、貧栄養湿地、富栄養湿地、水域の3環境に依存する絶滅危惧植物が多数を占め、水田と里草の2環境がそれらに次ぐことが明らかになった。こうした環境の重要性は信太山の植物相の特徴として従来から指摘されてきたことであり（辻本ほか，1961b；堀，1962；植野，1972；清水，1990），絶滅危惧植物の観点からもそのことが再確認された。信太山の植物相とその特徴を保全するには、ここで示された各環境の統合的な保全を図ることに力点を置くべきである。

最後に、とりわけ重要性の高いことが示された貧栄養湿地・富栄養湿地・水域の3環境が、信太

表4. 信太山から記録されたRDB掲載種数の一覧.

RDBの種類		環境庁RDB		近畿RDB		大阪府RDB	
大阪府下記録種数		129		325		405	
ランク	絶滅	0	絶滅	0	絶滅	7	
	IA類	0	A	15	I類	19	
	IB類	4	B	3			
	II類	17	C	28	II類	18	
	準	4	準	3	準	11	
	情報不足	1	情報不足	0	情報不足	3	
合計		26		49		58*	

*要注目種は合計から除外.

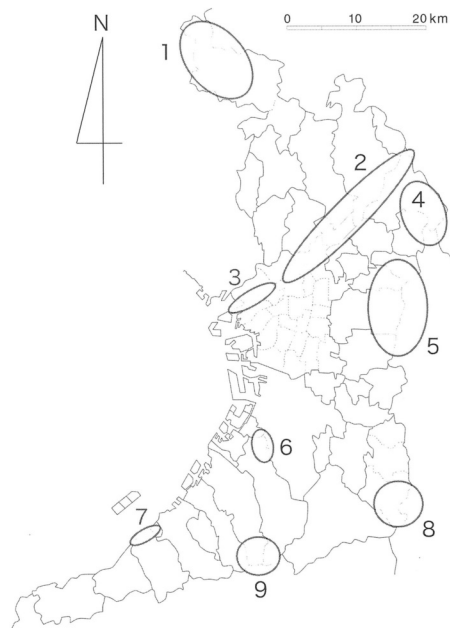


図2. 大阪府における保護上重要な地域。レッドデータブック近畿研究会編（2001）から作成。図中の番号については、表5を参照。

表5. 大阪府の植物保護上重要な地域と絶滅危惧植物の種数

	場所	重要な環境	大阪RDB掲載種	近畿RDB掲載種
1	能勢町北部	里草地、カヤ草地	92	73
2	淀川河川敷	原野、富栄養湿地、水域	42	37
3	淀川汽水域	塩性湿地	19	18
4	京阪奈丘陵	里草地、貧栄養湿地、水域	47	43
5	生駒山頂～室池	カヤ草地、水域、富栄養湿地、里草地	72	58
6	信太山丘陵	貧栄養湿地、里草地、水域	58	49
7	男里川河口干潟	塩性湿地	18	16
8	金剛山	極相林、二次林	99	63
9	和泉葛城山	カヤ草地	59	43

番号は図2の位置と対応。主な参考文献：桑島（1990），波江野ほか編（2004），清水（1990）

山丘陵という地理的なひろがりの中でどのように形成されたかについての推論を紹介したい。信太山丘陵は主として大阪層群の砂泥互層からなる緩傾斜地形（図1）である。砂泥互層には粘土等の粒子の細かな不透水層が存在し（図4-1 a,），それによって水脈が形成される（図4-1 b）。地史的時間経過とともに浸食を受けて谷津地形を形成すると、崩壊斜面に露出した不透水層部分から湧水が浸出することで貧栄養湿地が形成される（図4-2 c）。さらに、谷津地形を利用して谷池が築かれると、池の水辺には富栄養湿地が形成さ

れ（図4-3 d），開水面では水域環境が形成される。注目すべき点は、溜め池の土手斜面に貧栄養湿地が成立することが多く、必ずしも平坦な地形を必要としないことである。また、ひとつひとつの貧栄養湿地の面積規模は非常に小さく、数メートル四方のことが多い。筆者を含めたレッドデータブック近畿研究会のメンバー間では、しばしば「四畳半湿地」と形容されていたほどである。一方、富栄養湿地は、溜め池の縁に成立するばかりでなく、減水によって池底の泥底が一時的に干出した場合にも成立する。このような環境には、

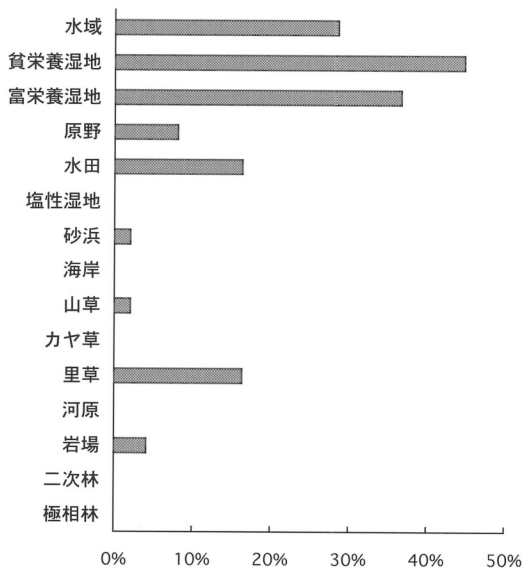


図3. 信太山から記録されたRDB近畿掲載49種の生育環境別出現種数の割合。複数の環境に生育する種を重複して計算しているので、合計は100%を超えてしまうことに注意。

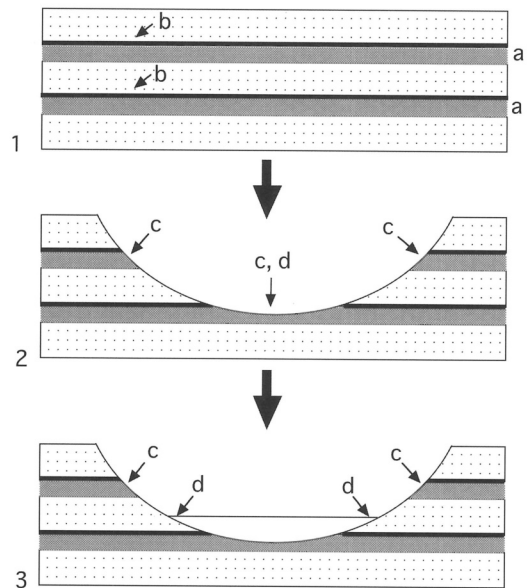


図4. 信太山丘陵にみられる湿地形成過程の模式図。1：砂泥互層からなる大阪層群。粒子の細かい粘土質層が不透水層の役割を果たし、水脈を形成。2：浸食により谷津地形が形成されることで、貧栄養湿地ができる。3：溜め池が造られ、富栄養湿地が形成される。2タイプの湿地環境が共存する。a：不透水層。b：水脈。c：崩壊斜面から湧出する水脈によって形成される貧栄養湿地。d：谷底や溜め池の水辺に形成される富栄養湿地。池が干上がった場合には、干出部全体が一時的な富栄養湿地となる。

ホシクサ類，アゼテンツキ類，アオガヤツリ類
Cyperus spp.，サワトウガラシ *Deinostema violaceum* といった小形の湿生植物が一斉繁茂しやすい。信太山丘陵の絶滅危惧植物の環境特性が貧栄養湿地・富栄養湿地・水域に象徴されるのは，丘陵を形成する地層構造と地史を通した複雑な浸食

地形および営農による土地利用形態などが密接かつ調和的に関連しあった結果だと推測している。信太山の植物相を保全することとは，こうした地史のおよび人為的な営力によって形成・維持されてきたと考えられるかけがえのない生態系を未来に継承することであろう。

引用文献

(植物目録, 図, 表への引用文献を含む)

- 別府敏夫・柳瀬大輔・野淵 正・村田 源. 1985. 日本産アオウキクサの再検討. 植物分類地理, 36: 45-58.
- 藤井伸二・高倉耕一. 大阪府におけるオナモミ類の変遷. Nature Study (印刷中).
- 藤井俊夫. 2008a. 大和川下流部の植物相. 自然史研究, 3: 137-142.
- . 2008b. フラワータウンの植物相. 人と自然, 18: 119-126.
- 波江野憲良・西畑敬一・田中光彦・天野史郎・木村雅行 (編). 2004. 北河内植物目録. 150pp. 北河内自然愛好会, 大東.
- 堀 勝. 1962. 大阪府植物誌. 421pp. 六月社, 大阪.
- 岩槻邦男 (編). 1992. 日本の野生植物シダ. 311 pp. 平凡社, 東京.
- 環境庁 (編). 2000. 改訂・日本の絶滅の恐れのある野生生物—レッドデータブック—8 植物 I (維管束植物). 660pp. (財) 自然環境研究センター, 東京.
- 勝山輝男. 2005. ネイチャーガイド日本のスゲ. 375pp. 文一総合出版, 東京.
- 桑島正二. 1990. 大阪府植物目録. 197pp. 近畿植物同好会, 柏原.
- Melchior, H. (ed.). 1964. A. Engler's syllabus der planzenfamilien, ed. 12, vol. 2. 666pp. Angiospermen. Gebruder Borntraeger, Berlin.
- みどりのトラスト協会. 2009. 対象湿地植物目録. 3pp. みどりのトラスト協会, 大阪 (関西自然保護機構主催「信太山現地見学会」配布資料).
- 邑田 仁. 2003. クマツヅラ科. 「日本の帰化植物」(清水建美編), pp.168-169. 平凡社, 東京.
- 大橋広好・門田裕一. 2002. 帰化植物アメリカクサネムの正体. 植物研究雑誌, 77: 113-115.
- 大阪府 (編). 2000a. 大阪府における保護上重要な野生生物—大阪府レッドデータブック—. 442pp. 大阪府環境農林水産部緑の環境整備室, 大阪.
- (編). 2000b. 大阪府野生生物目録. 352pp. 大阪府環境農林水産部緑の環境整備室, 大阪.
- レッドデータブック近畿研究会 (編). 2001. 改訂・近畿地方の保護上重要な植物—レッドデータブック近畿2001—. 164pp. (財) 平岡環境科学研究所, 川崎.
- 堺植物同好会 (編). 1998. 堺市植物目録. 145 pp. 堺植物同好会, 堺.
- ささやまの森公園 (編). 2008. ささやまの森公園植物誌. 91pp. (財) 兵庫丹波の森協会・県立ささやまの森公園運営協議会, 篠山.
- 清水千尋. 1990. 和泉市信太山の植物. 近畿植物同好会会報, 49: 14-21.
- ・田丸八郎. 2007. 信太山丘陵の植生調査の結果. 「信太山丘陵の自然環境実態調査報告書」(和泉市教育委員会・信太の森の鏡池史跡公園編), pp. 5-12. 和泉市教育委員会・信太の森の鏡池史跡公園, 和泉市.
- 辻本 修・瀬戸 剛・日浦 勇. 1961a. 信太山の四季 (2) 春から初夏へ. Nature Study, 7: 55-58.
- ・——・——. 1961b. 信太山の四季 (4) 秋. Nature Study, 7: 122-125.
- 植野敏郎. 1972. 信太山の自然—水生生物を中心として—. Nature Study, 18: 38-40.
- 梅原 徹・永野正弘・藤田康宏・藤井俊夫・藤井伸二. 1989. 植生と植物相. 「天野山の自然とその保全 (一般国道 (新) 170号環境保全対策検討調査報告書)」(大阪府編), pp.13-92. 大阪府富田林土木事務所, 大阪.

Flora list of Shinoda-yama Hill

信太山の植物相目録

自生植物と外来植物を個別にリストし、それぞれに種番号を付した（誤認と考えられる植物や周辺域のみでしか記録されていない植物については番号を付していない）。学名は主に大阪府編（2000b）に準じ、新エングラーシステム（Melchior, 1964）と岩槻のシステム（岩槻, 1992）に従って配列した。レッドデータブック掲載の自生植物については、そのランクを表示した。大阪府版レッドデータブック（大阪府編, 2000 a）は「大阪」、近畿地方版レッドデータブック（レッドデータブック近畿研究会編, 2001）は「近畿」、環境庁版レッドデータブック（環境庁編, 2000）は「国」と示した。なお、外来植物の命名者名は省略した。

Native plants 自生植物

PTERIDOPHYTA シダ植物

Lycopodiaceae ヒカゲノカズラ科

- 1 *Lycopodium cernuum* L. ミズスギ
- 2 *L. clavatum* L. ヒカゲノカズラ

Isoetaceae ミズニラ科

- 3 *Isoetes japonica* A.Br. ミズニラ
- 大阪：Ⅰ類, 近畿：C, 国：Ⅱ類。

Equisetaceae トクサ科

- 4 *Equisetum arvense* L. スギナ

Ophioglossaceae ハナヤスリ科

- 5 *Botrychium ternatum* (Thunb.) Sw. フユノハナワラビ

Osmundaceae センマイ科

- 6 *Osmunda japonica* Thunb. センマイ

Gleicheniaceae ウラジロ科

- 7 *Dicranopteris linearis* (Burm. f.) Underw. コシダ
- 8 *Gleichenia japonica* Spr. ウラジロ

Schizaeaceae フサシダ科

- 9 *Lygodium japonicum* (Thunb. ex Murray) Swartz カニクサ

Dennstaedtiaceae コバノイシカグマ科

- 10 *Hypolepis punctata* (Thunb.) Mett. ex Kuhn イワヒメワラビ
- 11 *Pteridium aquilinum* (L.) Kuhn ワラビ

Lindsaeaceae ホンクウシダ科

- 12 *Sphenomeris chinensis* (L.) Maxon ホランソノ

Parkeriaceae ホウライシダ科

- 13 *Ceratopteris thalictroides* (L.) Brongn. ミズワラビ
- 大阪：Ⅱ類, 近畿：準, 国：準。

Pteridaceae イノモトソウ科

- 14 *Pteris cretica* L. オオバノイノモトソウ
- 15 *P. multifida* Poir. イノモトソウ

Aspleniaceae チャセンシダ科

- 16 *Asplenium incisum* Thunb. トラノオシダ

Blechnaceae シシガシラ科

- 17 *Blechnum niponicum* (Kunze) Makino シシガシラ

Dryopteridaceae オシダ科

- 18 *Cyrtomium falcatum* (L.f.) C.Presl オニヤブソテツ
- 19 *C. fortunei* J. Sm. ヤブソテツ
- 20 *Dryopteris erythrosora* (D.C.Eaton) Kuntze ベニシダ
- 21 *D. nipponensis* Koidz. トウゴクシダ
- 22 *D. sacrosancta* Koidz. ヒメイタチシダ
- 23 *Stegnogramma pozoi* (Lag.) K.Iwats. subsp. *mollissima* (Fisch. ex Kunze) K.Iwats. ミンシダ
- 24 *Thelypteris acuminata* (Houtt.) Morton ホシダ

Thelypteridaceae ヒメシダ科

- 25 *Thelypteris angustifrons* (Miq.) Ching コハシゴシダ
- 26 *T. glanduligera* (Kunze) Ching ハシゴシダ
- 27 *T. japonica* (Baker) Ching ハリガネワラビ
- 28 *T. japonica* (Baker) Ching var. *musashiensis* Hiyama イワハリガネワラビ
- 29 *T. torresiana* (Gaudich.) Alston var. *calvata* (Baker) K.Iwats. ヒメワラビ

Polypodiaceae ウラボシ科

- 30 *Crypsinus hastatus* (Thunb. ex Murray) Copel. ミツデウラボシ
- 31 *Lepisorus thunbergianus* (Kaulf.) Ching ノキシノブ

Salviniaceae サンショウモ科

- 32 *Salvinia natans* (L.) All. サンショウモ
- 大阪：Ⅰ類, 近畿：C, 国：Ⅱ類。

GYMNOSPERM 裸子植物

Pinaceae マツ科

- 33 *Pinus x densi-thunbergii* Uyeki アイグロマツ, アカクロマツ
- 34 *P. densiflora* Siebold et Zucc. アカマツ, メマツ
- 35 *P. thunbergii* Parl. クロマツ, オマツ

Cupressaceae ヒノキ科

- 36 *Juniperus rigida* Siebold et Zucc. ネズ, ムロ, ネズミサシ

ANGIOSPERM 被子植物

Myricaceae ヤマモモ科

- 37 *Myrica rubra* Siebold et Zucc. ヤマモモ

Salicaceae ヤナギ科

- 38 *Populus tremula* L. var. *sieboldii* (Miq.) H.Ohashi ヤマナラシ, ハコヤナギ
- 39 *Salix alopecuroides* Kimura サイコクキツネヤナギ
- 40 *S. chaenomeloides* Kimura アカメヤナギ, マルバヤナギ
- S. triandra* L. subsp. *nipponica* (Franch. et Sav.) A.K.Skvortsov タチヤナギ
- 周辺地域での記録。
- S. yoshinoi* Koidz. ヨシノヤナギ
- 周辺地域での記録。

Betulaceae カバノキ科

- 41 *Alnus japonica* (Thunb.) Steud. ハンノキ

Fagaceae ブナ科

- 42 *Castanopsis cuspidata* (Thunb.) Schottky ツブラジイ, コジイ
- 43 *Lithocarpus glabra* (Thunb. ex Murray) Nakai シリブカガシ
- 44 *Quercus aliena* Blume ナラガシワ
- 45 *Q. glauca* Thunb. アラカシ
- 46 *Q. serrata* Murray コナラ, ハハソ, ホウソ, ナラ
- 47 *Q. variabilis* Blume アベマキ

Ulmaceae ニレ科

- 48 *Aphananthe aspera* (Thunb.) Planch. ムクノキ
- 49 *Celtis sinensis* Pers. var. *japonica* (Planch.) Nakai エノキ
- 50 *Ulmus parvifolia* Jacq. テキニレ

Moraceae クワ科

- 51 *Broussonetia kazinoki* Siebold ヒメコウゾ, コウゾ
- 52 *Fatoua villosa* (Thunb.) Nakai クワクサ
- 53 *Ficus erecta* Thunb. イヌビワ
- 54 *Humulus japonicus* Siebold et Zucc. カナムグラ

Urticaceae イラクサ科

- 55 *Boehmeria spicata* (Thunb.) Thunb. コアコン

Santalaceae ヒャクタン科

- 56 *Thesium chinense* Turcz. カナビキノソ

Polygonaceae タデ科

- 57 *Fallopia japonica* (Houtt.) Ronse Decr. イタドリ
- 58 *Persicaria conspicua* (Nakai) Nakai ex Ohki サクラタデ
- 59 *P. foliosa* (H.Lindb.) Kitag. var. *nikaii* (Makino) H.Hara サイコクヌカボ
- 大阪：Ⅰ類, 近畿：C, 国：ⅠB類。
- 60 *P. hydropiper* (L.) Spach ヤナギタデ, マタデ
- 61 *P. japonica* (Meisn.) Nakai ex Ohki シロバナサクラタデ
- 62 *P. lapathifolia* (L.) Gray オオイヌタデ
- 63 *P. longiseta* (Bruijn) Kitag. イヌタデ, ハナタデ
- 64 *P. muricata* (Meisn.) Nemoto ヤノネグサ
- 65 *P. perfoliata* (L.) H.Gross イシミカワ
- 66 *P. praetermissa* (Hook.f.) H.Hara ホソバノウナギツカミ
- 67 *P. pubescens* (Blume) H.Hara ボントクタデ
- 68 *P. sagittata* (L.) H.Gross var. *sibirica* (Meisn.) Miyabe アキノウナギツカミ, ウナギツカミ
- 69 *P. senticosa* (Franch. et Savat.) H. Gross ママコノシリヌグイ, トゲソバ
- 70 *P. senticosa* (Meisn.) H.Gross サナエタデ
- 71 *P. taquetii* (H.Lév.) Koidz. ヌカボタデ, コスカボタデ
- 大阪：Ⅱ類, 近畿：C, 国：Ⅱ類。
- 72 *P. thunbergii* (Siebold et Zucc.) H.Gross ミゾソバ
- 73 *P. viscofera* (Makino) H.Gross ネバリタデ
- 74 *Polygonum aviculare* L. ミチヤナギ, ニワヤナギ
- 75 *Rumex acetosa* L. スイバ

- 76 *R. japonicus* Houtt. ギンギン
Portulacaceae スベリヒユ科
 77 *Portulaca oleracea* L. スベリヒユ
Caryophyllaceae ナデシコ科
 78 *Arenaria serpyllifolia* L. ノミノツヅリ
 79 *Dianthus superbus* L. var. *longicalycinus* (Maxim.) F.N.Williams
 カワラナデシコ, ナデシコ
 80 *Sagina japonica* (SW.) Ohwi ツメクサ
 81 *S. maxima* A.Gray ハマツメクサ
 82 *Stellaria alsine* Grimm var. *undulata* (Thunb. ex Murray)
 Ohwi ノミノフスマ
 83 *S. aquatica* (L.) Scop. ウシハコベ
 84 *S. media* (L.) Villars コハコベ, ハコベ
 85 *S. neglecta* Weihe ミドリハコベ, ハコベ
Chenopodiaceae アカザ科
 86 *Chenopodium album* L. シロザ, シロアカザ
Amaranthaceae ヒユ科
 87 *Achyranthes bidentata* Blume var. *japonica* Miq.
 ヒカゲイノコズチ, イノコズチ
 88 *A. bidentata* Blume var. *tomentosa* (Honda) H.Hara
 ヒナタイノコズチ
Schisandraceae マツブサ科
 89 *Kadsura japonica* (L.) Dunal サネカズラ, ビナンカズラ
Lauraceae クスノキ科
 90 *Cinnamomum camphora* (L.) J. Presl クスノキ
 91 *C. tenuifolium* (Makino) Sugim. ex H.Hara ヤブニッケイ
Ranunculaceae キンボウゲ科
 92 *Clematis apifolia* DC. ボタンヅル
 93 *C. terniflora* DC. センニンソウ
 94 *Ranunculus cantoniensis* DC. ケキツネノボタン
 95 *R. japonicus* Thunb. ウマノアシガタ
 96 *R. sceleratus* L. タガラシ
 97 *R. silerifolius* Lev. キツネノボタン
 98 *Semiaquilegia adoxoides* (DC.) Makino ヒメウス
Lardizabalaceae アケビ科
 99 *Akebia quinata* (Houtt.) Decne. アケビ
 100 *A. trifoliata* (Thunb.) Koidz. ミツバアケビ
Menispermaceae ツツラフジ科
 101 *Cocculus trilobus* (Thunb.) DC. アオツツラフジ, カミエビ
Nymphaeaceae スイレン科
 102 *Brasenia schreberi* J.F.Gmel. ジュンサイ
 大阪：要注目.
 103 *Nymphaea tetragona* Georgi var. *angusta* Casp. ヒツジグサ
Ceratophyllaceae マツモ科
 104 *Ceratophyllum demersum* L. マツモ, キンギョモ
Aristolochiaceae ウマノスズクサ科
 105 *Aristolochia debilis* Siebold et Zucc. ウマノスズクサ
Theaceae ツバキ科
 106 *Camellia japonica* L. ヤブツバキ, ツバキ
 107 *Eurya japonica* Thunb. ヒサカキ, ビシャコ
Guttiferae オトギリソウ科
 108 *Hypericum erectum* Thunb. ex Murray オトギリソウ
 109 *H. japonicum* Thunb. ヒメオトギリ
 110 *H. laxum* (Blume) Koidz. コケオトギリ
 111 *Triadenum japonicum* (Blume) Makino ミズオトギリ
 大阪：準.
Droseraceae モウセンゴケ科
 112 *Drosera peltata* Smith var. *lunata* (Buch.-Ham.) Clarke
 イシモチソウ
 大阪：Ⅱ類, 近畿：C, 国：Ⅱ類.
 113 *D. rotundifolia* L. モウセンゴケ
 大阪：準.
 114 *D. spathulata* Labill. コモウセンゴケ
 大阪：準, 近畿：準.
Cruciferae アブラナ科
 115 *Capsella bursa-pastoris* (L.) Medic. ナズナ, ペンペンゴサ
 116 *Cardamine flexuosa* With. タネツケバナ
 117 *Rorippa indica* (L.) Hiern イヌガラシ
 118 *R. palustris* (L.) Besser スカシタゴボウ
Crassulaceae ベンケイソウ科
 119 *Orostachys japonica* (Maxim.) A.Berger ツメレンゲ
 周辺地域での記録. 大阪：準, 近畿：準, 国：準.
 119 *Sedum bulbiferum* Makino コモチマンネングサ
Saxifragaceae ユキノシタ科
 120 *Parnassia palustris* L. ウメバチソウ

大阪：要注目.

Rosaceae バラ科

- 121 *Agrimonia pilosa* Ledeb. var. *japonica* (Miq.) Nakai
 キンミズヒキ
 122 *Amelanchier asiatica* (Siebold et Zucc.) Endl. ex Walp.
 ザイフリボク, シデザクラ
 123 *Duchesnea chrysantha* (Zoll. et Mor.) Miq. ヘビイチゴ, シドミ
 124 *D. indica* (Andrews) Focke ヤブヘビイチゴ
 125 *Geum japonicum* Thunb. ダイコンソウ
 126 *Photinia glabra* (Thunb.) Maxim. カナメモチ
 127 *Potentilla anemonifolia* Lehmann オヘビイチゴ
 128 *Pourthiaea villosa* (Thunb.) Decne. カマツカ, ケナシカマツカ
 129 *Prunus jamasakura* Siebold ex Koidz. ヤマザクラ
 130 *Rosa multiflora* Thunb. ノイバラ
 131 *R. onoei* Makino ニオイバラ, ヤブイバラ
 132 *R. paniculata* Makino ミヤコイバラ, コバノテリハノイバラ
 133 *R. wichuraiana* Crepin テリハノイバラ
 134 *Rubus hirsutus* Thunb. クサイチゴ
 135 *R. parvifolius* L. ナワシロイチゴ
 136 *Sanguisorba officinalis* L. ワレモコウ
 137 *S. tenuifolia* Fisch. ex Link var. *parviflora* Maxim.
 コバノワレモコウ
 大阪：Ⅰ類, 近畿：A.
Leguminosae マメ科
 138 *Aeschynomene indica* L. クサネム
 139 *Albizia julibrissin* Durazz. ネムノキ
 140 *Cassia mimosoides* L. subsp. *nomame* (Siebold) H.Ohashi
 カワラケツメイ
 大阪：Ⅱ類.
 141 *Crotalaria sessiliflora* L. タスキマメ
 大阪：Ⅱ類, 近畿：C.
 142 *Desmodium podocarpum* DC. subsp. *oxyphyllum* (DC.) H.Ohashi
 ヌスビトハギ
 143 *Dumbaria villosa* (Thunb.) Makino ノアズキ, ヒメクス
 144 *Glycyne max* (L.) Merr. subsp. *soja* (Siebold et Zucc.) H.Ohashi
 ツルマメ
 145 *Indigofera pseudotinctoria* Matsum. コマツナギ
 146 *Kummerovia stipulacea* (Maxim.) Makino マルバヤハズノウ
 147 *K. striata* (Thunb.) Schindl. ヤハズソウ
 148 *Lespedeza cyrtobotrya* Miq. マルバハギ, ミヤマハギ
 149 *L. homoloba* Nakai ツクシハギ, ヤブハギ
 150 *L. intermixta* Makino ツルメドハギ
 151 *L. juncea* (L.f.) Pers. var. *subsessilis* Miq. メドハギ
 152 *L. juncea* (L.f.) Pers. var. *serpens* (Nakai) H.Ohashi
 ハイメドハギ
 153 *L. pilosa* (Thunb.) Siebold et Zucc. ネコハギ
 154 *Lotus corniculata* L. var. *japonica* Regel ミヤコグサ
 155 *Maackia floribunda* (Miq.) Takeda ハネミイヌエンジュ
 156 *Pueraria lobata* (Willd.) Ohwi クズ
 157 *Rhynchosia acuminatifolia* Makino
 オオボタンキリマメ, トキリマメ, ベニカワ
 158 *R. volubilis* Lour. タンキリマメ
 159 *Sophora flavescens* Aiton クララ
 160 *Vicia angustifolia* L. ヤハズエンドウ, カラスノエンドウ
 161 *V. hirsuta* (L.) S.F.Gray スズメノエンドウ
 162 *V. tetrasperma* (L.) Schreb. カスマグサ
 163 *Wisteria floribunda* (Willd.) DC. フジ, ノダフジ
 164 *Wisteria japonica* Siebold et Zucc. ナツフジ, ドヨウフジ
Oxalidaceae カタバミ科
 165 *Oxalis corniculata* L. カタバミ
Geraniaceae フウロソウ科
 166 *Geranium thunbergii* Siebold ex Lindl. et Paxton
 ゲンノショウコ, フウロソウ
Euphorbiaceae トウダイグサ科
 167 *Acalypha australis* L. エノキグサ
 168 *Mallotus japonicus* (Thunb.) Muell.Arg. アカメガシワ
 169 *Phyllanthus matsumurae* Hayata
 ヒメミカンソウ, チョウセンミカンソウ
Rutaceae ミカン科
 170 *Skimmia japonica* Thunb. ミヤマシキミ
Polygalaceae ヒメハギ科
 171 *Polygala japonica* Houtt. ヒメハギ
 172 *Salomonina ciliata* (L.) DC. ヒナノカンザシ
 大阪：Ⅰ類, 近畿：B.
Anacardiaceae ウルシ科

173 *Rhus javanica* L. var. *chinensis* (Mill.) T.Yamaz.
スルデ、フシノキ

174 *R. succedanea* L. ハゼノキ、リュウキュウハゼ

175 *R. sylvestris* Siebold et Zucc. ヤマハゼ

176 *R. trichocarpa* Miq. ヤマウルシ

Aquifoliaceae モチノキ科

177 *Ilex chinensis* Sims ナナミノキ、ナナメノキ

178 *I. crenata* Thunb. イヌツゲ

179 *I. integra* Thunb. モチノキ

180 *I. macropoda* Miq. アオハダ

181 *I. pedunculosa* Miq. ソヨゴ

182 *I. rotunda* Thunb. クロガネモチ

183 *I. serrata* Thunb. ex Murray ウメモドキ

Celastraceae ニシキギ科

184 *Celastrus orbiculatus* Thunb. ツルウメモドキ

Rhamnaceae クロウメモドキ科

185 *Rhamnus crenata* Siebold et Zucc. イソノキ

Vitaceae ブドウ科

186 *Ampelopsis glandulosa* (Wall.) Momiy. var. *heterophylla*
(Thunb.) Momiy. ノブドウ

187 *Cayratia japonica* (Thunb.) Gagn. ヤブガラシ、ビンボウカズラ

188 *Parthenocissus tricuspidata* (Siebold et Zucc.) Planch.
ツタ、ナツツタ

189 *Vitis ficifolia* Bunge エビツル

Thymelaeaceae ジンチョウゲ科

190 *Diplomorpha ganpi* (Siebold et Zucc.) Nakai コガンビ

Elaeagnaceae グミ科

191 *Elaeagnus glabra* Thunb. ツルグミ

192 *E. pungens* Thunb. ナウシログミ

193 *E. umbellata* Thunb. アキグミ

Violaceae スミレ科

194 *Viola betonicifolia* Smith var. *albescens* (Nakai) F.Maek. et
Hashimoto アリアケスミレ

195 *V. grypoceras* A.Gray タチツボスミレ

196 *V. inconspicua* Blume subsp. *nagasakiensis* (W.Becker) J.C.
Wang et T.C.Huang ヒメスミレ

197 *V. mandshurica* W. Becker スミレ

198 *V. obtusa* (Makino) Makino ニオイタチツボスミレ

199 *V. sieboldii* Maxim. フモトスミレ

200 *V. verecunda* A.Gray ツボスミレ、ニュイスミレ

201 *V. verecunda* A.Gray var. *semilunaris* Maxim. アギスミレ

202 *V. violacea* Makino シハイスミレ

203 *V. yedoensis* Makino ノジスミレ

Elatinaceae ミゾハコベ科

204 *Elatine triandra* Schk. ミゾハコベ

Cucurbitaceae ウリ科

205 *Actinostemma lobatum* (Maxim.) Maxim. ゴキツル

206 *Melothria japonica* (Thunb.) Maxim. ex Cogn. スズメウリ

207 *Trichosanthes cucumeroides* (Ser.) Maxim. カラスウリ

Lythraceae ミソハギ科

208 *Lythrum anceps* (Koehne) Makino ミソハギ

209 *Rotula indica* (Willd.) Koehne var. *uliginosa* (Miq.) Koehne
キカシグサ

Trapaceae ヒシ科

Trapa incisa Siebold et Zucc. ヒメビシ

清水 (1990) にヒメビシの記録があるが、今回の調査で信太山産ヒメビシの標本を確認することはできなかった。ヒシの矮小個体を誤認したものと思われる。

210 *T. japonica* Flerov ヒシ

211 *T. natans* L. オニビシ

Onagraceae アカバナ科

212 *Epilobium pyrrhicholophum* Franch. et Sav. アカバナ

213 *Ludwigia epilobioides* Maxim. チョウジタデ

214 *L. ovalis* Miq. ミズユキノシタ

Haloragaceae アリノトウグサ科

215 *Haloragis micrantha* (Thunb.) R.Br. アリノトウグサ

216 *Myriophyllum spicatum* L. ホザキノフサモ、キンギョモ

217 *M. ussuriense* (Regel) Maxim. タチモ

大阪：I類、近畿：C、国：準、

218 *M. verticillatum* L. フサモ

植野 (1972) にフサモの記録がある。今回の調査で信太山産フサモの標本を確認することはできなかったが、植野 (1972) はホザキノフサモとフサモの両種を記録していることから、ホザキノフサモの誤認とは考えにくい。なお、大阪府下にはオグラノフサモの方が多産し、最近になってハリマノフサモが見いだされていることから、これらの

種類と混同している可能性があり、再検討を要する。大阪：情報不足、近畿：A。

Cornaceae ミズキ科

219 *Aucuba japonica* Thunb. アオキ

Araliaceae ウコギ科

220 *Aralia elata* (Miq.) Seem. クラノキ

221 *Dendropanax trifidus* (Thunb.) Makino ex H.Hara カクレミノ

222 *Fatsia japonica* (Thunb.) Decne. et Planch. ヤツデ

223 *Hedera rhombea* Siebold et Zucc. キヅタ、フユヅタ

Umbelliferae セリ科

224 *Centella asiatica* (L.) Urban ツボクサ

225 *Hydrocotyle maritima* Honda ノチドメ

226 *H. sibthorpioides* Lam. チドメグサ

227 *Oenanthe javanica* (Blume) DC. セリ

228 *Sium ninsi* L. ムカゴニンジン

大阪：準、

229 *Torilis japonica* (Houtt.) DC. ヤブジラミ

230 *T. scabra* (Thunb.) DC. オヤブジラミ

Ericaceae ツツジ科

231 *Lyonia ovalifolia* (Wall.) Drude subsp. *neziki* (Nakai et

H.Hara) H.Hara ネジキ

232 *Rhododendron kaempferi* Planch. ヤマツツジ

233 *R. macrosepalum* Maxim. モチツツジ

234 *R. reticulatum* D.Don ex G.Don コバノミツバツツジ

235 *R. x tectum* Koidz. ミヤコツツジ

236 *Vaccinium bracteatum* Thunb. シャンシャンボ、シャンシャンボ

237 *V. oldhamii* Miq. ナツハゼ

Myrsinaceae ヤブコウジ科

238 *Ardisia crenata* Sims マンリョウ

239 *A. japonica* (Thunb.) Blume ヤブコウジ、ヤマタチバナ

Primulaceae サクラソウ科

240 *Lysimachia clethroides* Duby オカトラノオ

241 *L. fortunei* Maxim. スマトラノオ

242 *L. japonica* Thunb. コナスビ

Ebenaceae カキノキ科

243 *Diospyros kaki* Thunb. カキノキ、カキ

Styracaceae エゴノキ科

244 *Styrax japonica* Siebold et Zucc. エゴノキ

Symplocaceae ハイノキ科

Symplocos sawafutagi Nagam. サワフタギ

みどりのトラスト協会の調査報告資料にサワフタギの記録がある。しかし、大阪府南部の平地にサワフタギが生ずることは考えにくく、タンナサワフタギの幼木を誤認したものと考えられる。なお、桑島 (1990) に堺市浅香山でのサワフタギの記録があるが、当該標本はタンナサワフタギの幼木と考えられるものであった。

245 *S. prunifolia* Siebold et Zucc. クロバイ

Oleaceae モクセイ科

246 *Ligustrum japonicum* Thunb. ネズミモチ、タマツバキ

247 *Osmanthus heterophyllus* (G.Don) P.S.Green ヒイラギ

Gentianaceae リンドウ科

248 *Gentiana scabra* Bunge var. *buergeri* (Miq.) Maxim. リンドウ

249 *Swertia bimaculata* (Siebold et Zucc.) Hook.f. et Thomson ex
C.B.Clarke アケボノソウ

250 *S. japonica* (Schult.) Makino センブリ、トウヤク

251 *S. tosaensis* Makino イヌセンブリ

大阪：II類、近畿：C、国：II類、

252 *Tripterospermum japonicum* (Siebold et Zucc.) Maxim.
ツルリンドウ

Menyanthaceae ミツガシワ科

253 *Nymphoides indica* (L.) O.Kuntze ガガバタ

大阪：II類、近畿：A、国：II類、

Apocynaceae キョウチクトウ科

254 *Trachelospermum asiaticum* (Siebold et Zucc.) Nakai

テイカカズラ

Asclepiadaceae ガガイモ科

255 *Metaplexis japonica* (Thunb.) Makino ガガイモ、カガイモ

256 *Tylophora floribunda* Miq. コカモヅル

257 *Vincetoxicum glabrum* (Nakai) Kitag.

タチカモヅル、クロバナカモヅル

大阪：要注目、近畿：C、

258 *V. pycnostelma* Kitag. スズサイコ

大阪：II類、近畿：C、国：II類、

Rubiaceae アカネ科

259 *Galium spurium* L. var. *echinosperum* (Wallr.) Hayek
ヤエムグラ

- 260 *G. verum* L. var. *asiaticum* Nakai f. *nikkoense* (Nakai) Ohwi
カワラマンツバ
- 261 *Gardenia jasminoides* Ellis クチナシ
- 262 *Hedyotis diffusa* Willd. フタバムグラ
- 263 *H. diffusa* var. *longipes* Nakai ナガエノフタバムグラ
フタバムグラと区別する必要はないと思うが、とりあえず過去の文献に従って挙げておく。
- 264 *Paederia scandens* (Lour.) Merrill
ヤイトバナ, ヘクソカズラ, サオトメカズラ
- Convolvulaceae ヒルガオ科**
- 265 *Calystegia japonica* Choisy ヒルガオ
Cuscuta australis R.Br. マメダオシ
堀(1962)と清水(1990)にマメダオシの記録があるが、今回の調査で信太山産マメダオシの標本を確認することができなかった。アメリカネナシカズラを誤認したものと思われる。
- Boraginaceae ムラサキ科**
- 266 *Bothriospermum tenellum* (Hornem.) Fisch. et C.A.Mey.
ハナイバナ
- 267 *Lithospermum zollingeri* A.DC. ホタルカズラ
- 268 *Omphalodes japonica* (Thunb.) Maxim. ヤマルリソウ
- 269 *Trigonotis peduncularis* (Trevir.) Benth.
キュウリグサ, タビラコ
- Verbenaceae クマツヅラ科**
- 270 *Clerodendrum trichotomum* Thunb. クサギ
- 271 *Verbena officinalis* L. クマツヅラ
- Callitrichaceae ミゾハコベ科**
- 272 *Callitriche palustris* L. ミゾハコベ
- Labiatae シソ科**
- 273 *Ajuga decumbens* Thunb. キランソウ, ジゴクノカマノフタ
- 274 *Clinopodium gracile* (Benth.) Kuntze トウバナ
- 275 *Glechoma hederacea* L. subsp. *grandis* (A.Gray) H.Hara
カキドオシ
- 276 *Lamium amplexicaule* L. ホトケノザ, サンガイグサ
- 277 *Leonurus japonicus* Houtt. メハジキ
- 278 *Lycopus maackianus* (Maxim.) Makino ヒメシロネ
- 279 *Mosla dianthera* (Hamilt.) Maxim. ヒメジソ
- 280 *M. scabra* (Thunb.) C.Y.Wu et H.W.Li イヌコウジュ
- 281 *Pogostemon yatabeensis* (Makino) Press
ミズトラノオ, ムラサキミズトラノオ
大阪:絶滅, 近畿:A.
- 282 *Prunella vulgaris* L. subsp. *asiatica* (Nakai) H.Hara
ウツボグサ, カコソウ
- 283 *Salvia japonica* Thunb. アキノタムラソウ
- 284 *Scutellaria indica* L. タツナミソウ
S. indica L. var. *parvifolia* (Makino) Makino
コバノタツナミ, ピロードタツナミ, ピロウドタツナミ
周辺地域での記録。
- Solanaceae ナス科**
- 285 *Lycium chinense* Mill. クコ
- 286 *Solanum lyratum* Thunb. ヒヨドリジョウゴ
- 287 *S. nigrum* L. イヌホオズキ
- Scrophulariaceae ゴマノハグサ科**
- 288 *Centranthera cochinchinensis* (Lour.) Merr. subsp. *lutea*
(H.Hara) T.Yamaz. ゴマクサ
大阪:I類, 近畿:A, 国:I B類。
- 289 *Deinostema violaceum* (Maxim.) T.Yamaz. サウトウガラシ
- 290 *Dopatrium junceum* (Roxb.) Buch-Hamil. ex Benth. アブノメ
- 291 *Linnophila aromatica* (Lam.) Merrill シンクサ
桑島(1990)にシンクサの記録があるが、当該引用標本を検討した結果、アゼトウガラシの誤同定であることが判明した。大阪府編(2000a)ではこの結果に基づいてレッドリスト種の判定を行った。その後、緑のトラスト協会による惣ヶ池湿地の保全再生事業においてシンクサが発見され、信太山での初記録となった。大阪:絶滅, 近畿:C.
- 292 *Linnophila sessiliflora* Blume キクモ
- 293 *Lindernia antipoda* (L.) Alston スズメノトウガラシ
- 294 *L. micrantha* D.Don アゼトウガラシ
- 295 *L. procumbens* (Krock) Borbas アゼナ
- 296 *Mazus miquelii* Makino サギゴケ, ムラサキサギゴケ
- 297 *M. pumilus* (Burm.f.) Steenis トキワハゼ
- 298 *Veronica peregrina* L. ムシクサ
- 299 *V. polita* Fr. subsp. *lilacina* (T.Yamaz.) T.Yamaz.
イヌノフグリ
- Acanthaceae キツネノマゴ科**
- 300 *Hygrophila salicifolia* (Vahl) Nees オギノツメ
- 301 *Justicia procumbens* L. キツネノマゴ
- Orobanchaceae ハマウツボ科**
- 302 *Aeginetia indica* L. ナンバンギセル, オモイグサ
- Lentibulariaceae タヌキモ科**
- 303 *Utricularia aurea* Lour. ノタヌキモ
- 304 *U. australis* R.Br. イスタヌキモ
大阪:要注目。
- 305 *U. bifida* L. ミミカキグサ
- 306 *U. racemosa* Wall. ホザキノミミカキグサ
- 307 *U. uliginosa* Vahl ムラサキミミカキグサ
大阪:I類, 近畿:C, 国:II類。
- 308 *U. vulgaris* L. var. *japonica* (Makino) Tamura タヌキモ
辻本ほか(1961), 植野(1972), 清水(1990)にタヌキモの記録がある。今回の調査で信太山産タヌキモの標本を見いだすことはできなかった。しかし、辻本ほか(1961)はタヌキモとイスタヌキモの殖芽形態の違いについて記述したうえで両種を記録していることから、辻本他(1961)の記録は信頼できるものと考えられる。大阪:I類, 近畿:A, 国:II類。
- Plantaginaceae オオバコ科**
- 309 *Plantago asiatica* L. オオバコ
- Caprifoliaceae スイカズラ科**
- 310 *Lonicera japonica* Thunb. ex Murray スイカズラ, ニンドウ
- 311 *Viburnum dilatatum* Thunb. ガマズミ, アラゲガマズミ
- Valerianaceae オミナエシ科**
- 312 *Patrinia x hybrida* Makino オトコオミナエシ
- 313 *P. scabiosaefolia* Fisch. オミナエシ
- Campanulaceae キキョウ科**
- 314 *Adenophora triphylla* (Thunb.) A.DC. var. *japonica* (Regel)
H.Hara ツリガネニンジン
- 315 *Lobelia chinensis* Lour. ミゾカクシ, アゼムシロ
- 316 *Platycodon grandiflorus* (Jacq.) A.DC. キキョウ
大阪:準, 近畿:C, 国:II類。
- 317 *Wahlenbergia marginata* (Thunb.) A.DC. ヒナギキョウ
- Compositae キク科**
- 318 *Artemisia princeps* Pamp. ヨモギ, カズザキヨモギ
- 319 *Aster microcephalus* (Miq.) Franch. et Sav. var. *ovatus* (Franch. et Sav.) Soejima et Mot.Ito ノコンギク
- 320 *A. scaber* Thunb. シラヤマギク
- 321 *A. yomena* (Kitam.) Honda ヨメナ, カンサイヨメナ
- 322 *Atractylodes japonica* Koidz. オケラ
- 323 *Bidens biternata* (Lour.) Merr. et Sherff センダングサ
- 324 *B. tripartita* L. タウコギ
- 325 *Centipeda minima* (L.) A.Braun et Asch. トキンソウ
- 326 *Chrysanthemum makinoi* Matsum. et Nakai
リュウノウギク, キバナリュウノウギク
- 327 *C. x leucanthum* (Makino) Makino
シロバナアブラギク, リュウノウカンギク
雑種。
- 328 *Cirsium japonicum* Fisch. ex DC. ノアザミ
- 329 *C. sieboldii* Miq. キセルアザミ, マアザミ
- 330 *Eclipta thermalis* Bunge タカサブロウ
- 331 *Eupatorium chinense* L. ヒヨドリバナ
- 332 *E. laciniatum* Kitam. サケバヒヨドリ
- 333 *E. lindleyana* DC. var. *lindleyana* サワヒヨドリ
- 334 *Gnaphalium affine* D.Don ハハコグサ, ホウコグサ
- 335 *G. japonicum* Thunb. チチコグサ
- 336 *Hemistepta lyrata* Bunge キツネアザミ
- 337 *Heteropappus hispidus* (Thunb.) Less.
ヤマジノギク, アレノノギク
- 338 *Hololeion krameri* (Franch. et Sav.) Kitam. スイラン
- 339 *Ixeris japonica* (Burm.f.) Nakai オオジシバリ, オオジシバリ
- 340 *I. Ixeridium dentatum* (Thunb.) Tzvelev ニガナ
- 341 *I. Ixeridium dentatum* (Thunb.) Tzvelev subsp. *nipponicum* (Nakai) J.H.Pak et Kawano var. *albiflorum* (Makino) f. *amplifolium* (Kitam.) ハナニガナ, オオバナニガナ, オオニガナ
- 342 *I. polycephala* Cass. ノニガナ
- 343 *I. stolonifera* A.Gray イワニガナ, ジシバリ
- 344 *Lactuca indica* L. アキノノゲシ, ホソバアキノノゲシ
- 345 *Lapsana apogonoides* Maxim. コオニタビラコ, タビラコ
- 346 *Rhynchospermum verticillatum* Reinw. シュウブンソウ
- 347 *Solidago virgaurea* L. subsp. *asiatica* Kitam. アキノキリンソウ
- 348 *Sonchus oleraceus* L. ノゲシ, ハルノノゲシ
- 349 *Taraxacum japonicum* Koidz.
カンサイタンポポ, カンセイタンポポ
Xanthium strumarium L. オナモミ

清水 (1990) にオナモミの記録があるが、藤井・高倉 (印刷中) に
よれば大阪府からは1970年代に絶滅したとされるので、オオオナモミ
を誤認したものと思われる。なお、信太山からのオオオナモミの標本
記録を見いだすことはできなかった。

350 *Youngia japonica* (L.) DC. オニクビラコ

Alismataceae オモダカ科

351 *Alisma canaliculatum* A.Br. et Bouche ヘラオモダカ

352 *Sagittaria aginashi* Makino アギナシ

大阪: I 類, 近畿: A, 国: 準.

353 *S. pygmaea* Miq. ウリカワ

354 *S. trifolia* L. オモダカ

Hydrocharitaceae トチカガミ科

355 *Blyxa echinosperma* (C.B.Clarke) Hook.f.

スプタ, ナガバスプタ, コスプタ

大阪: I 類, 近畿: A, 国: II 類.

356 *B. japonica* (Miq.) Maxim. ex Ascherson. et Giirke

ヤナギスプタ

大阪: II 類.

357 *Hydrilla verticillata* (L.f.) Royle クロモ

358 *Ottelia alismoides* (L.) Pers. ミズオオバコ

大阪: 準.

Potamogetonaceae ヒルムシロ科

359 *Potamogeton bertholdii* Fieber イトモ, イトヤナギモ

大阪: I 類, 近畿: A, 国: II 類.

P. crispus L. エビモ

周辺地域での記録.

360 *P. distinctus* A.Benn. ヒルムシロ

361 *P. octandrus* Poir. ミズヒキモ, ホソバミズヒキモ

Najadaceae イバラモ科

362 *Najas oguraensis* Miki オオトリゲモ

大阪: I 類, 近畿: A.

Liliaceae ユリ科

363 *Alettris spicata* (Thunb.) French. ソクシンラン

364 *Allium macrostemon* Bunge ノビル

365 *Heloniopsis orientalis* (Thunb.) C.Tanaka ショウジョウバカマ

366 *Hosta longissima* Honda ミズキボウシ, ナガバミズギボウシ

大阪: II 類, 近畿: C.

367 *Liriope minor* (Maxim.) Makino ヒメヤブラン

368 *L. muscari* (Decne.) L.H.Bailey ヤブラン

369 *L. spicata* Lour. コヤブラン, リュウキュウヤブラン

370 *Metanathecium luteo-viride* Maxim. ノギラン

371 *Ophiopogon japonicus* (L.f.) Ker-Gawler

ジャノヒゲ, リュウノヒゲ

372 *Reineckea carnea* (Andr.) Kunth キチジョウソウ

373 *Scilla scilloides* (Lindl.) Druce ツルボ

374 *Smilax china* L. サルトリイバラ

Amarylloidaceae ヒガンバナ科

375 *Lycoris radiata* (L'Her.) Herb. ヒガンバナ, マンジュシャゲ

Dioscoreaceae ヤマノイモ科

タチドコロ, カエデドコロ, ヒメドコロ, オニドコロの記録について
は、清水 (1990) と清水・田丸 (2007) との間に食い違いがある。
それぞれの認識が正しいのかあるいは誤認情報が混在しているかにつ
いて、再検討が必要と思われる。

Dioscorea bulbifera L. ニガカシウ, マルバドコロ

周辺地域での記録.

376 *D. gracillima* Miq. タチドコロ

377 *D. japonica* Thunb. ヤマノイモ

378 *D. quinqueloba* Thunb. カエデドコロ

379 *D. tenuipes* Franch. et Sav. ヒメドコロ, エドドコロ

380 *D. tokoro* Makino オニドコロ, トコロ

Pontederiaceae ミズアオイ科

381 *Monochoria korsakowii* Regel et Maack ミズアオイ

大阪: I 類, 近畿: A, 国: II 類.

382 *M. vaginalis* (Burm.f.) C.Presl コナギ, ササナギ

Iridaceae アヤメ科

383 *Iris ensata* Thunb. var. *spontanea* (Makino) Nakai ex Makino

et Nemoto ノハナショウブ

大阪: II 類, 近畿: C.

Juncaceae イグサ科

384 *Juncus alatus* Franch. et Sav. ハナビゼキシウ

385 *J. effusus* L. イ, トウシンソウ, イグサ

386 *J. leschenaultii* Gay

コウガイゼキシウ, ヒラコウガイゼキシウ

387 *J. papillosus* Franch. et Sav.

アオコウガイゼキシウ, ホソバノコウガイゼキシウ

388 *J. setchuensis* Buchen. ホソイ

389 *J. tenuis* Willd. クサイ, シラネイ

390 *J. wallichianus* Laharpe ハリコウガイゼキシウ

391 *Luzula capitata* (Miq.) Miq. スズメノヤリ, スズメノヒエ

392 *L. plumosa* E. Meyer var. *macrocarpa* (Buchen.) Ohwi

スカボシソウ

Commelinaceae ツクサ科

393 *Aneilema keisak* (Hassk.) Hand.-Mazz. イボクサ

394 *Commelina communis* L. ツクサ

Eriocaulaceae ホシクサ科

395 *Eriocaulon alpestre* Hook.f. et Thomson ex Koern. var.

robustius Maxim. ヒロハイツノヒゲ, ヒロハノイツノヒゲ

396 *E. atrum* Nakai クロイツノヒゲ, クロイツヒゲ

大阪: 絶滅, 近畿: A.

397 *E. buergerianum* Koern. オオホシクサ

近畿: C.

398 *E. japonicum* Koern. ヤマトホシクサ

大阪: 情報不足, 国: 情報不足

399 *E. miquelianum* Korn. var. *matsumurae* (Nakai) Z.X.Zhang

マツムライツノヒゲ, キビイツノヒゲ

大阪: 情報不足

400 *E. sikokianum* Maxim. シロイツノヒゲ

401 *E. taquetii* Lecomte ニッポニイツノヒゲ, ホシザキイツノヒゲ

Gramineae イネ科

402 *Agropyron racemiferum* (Steud.) Koidz. アオカモジグサ

403 *Agrostis clavata* Trin. ヤマスカボ

404 *A. clavata* Trin. subsp. *matsumurae* (Hack. ex Honda) Tateoka

スカボ

405 *Alopecurus aequalis* Sobol. var. *amurensis* (Kom.) Ohwi

スズメノテッポウ

406 *A. japonicus* Steud. セトガヤ

407 *Arthraxon hispidus* (Thunb.) Makino コブナグサ

408 *Arundinella hirta* (Thunb.) C.Tanaka トダシバ, ケトダシバ

409 *Arundo donax* L. ダンチク, ヨシタケ

410 *Beckmannia syzigachne* (Steud.) Fernald

ミノゴメ, カズノコグサ

411 *Brachypodium sylvaticum* (Huds.) P.Beauv. ヤマカモジグサ

412 *Bromus japonicus* Thunb. スズメノチャヒキ

413 *Calamagrostis epigeios* (L.) Roth ヤマアワ

414 *Coelachne japonica* Hack. ヒナザサ

大阪: I 類, 近畿: B.

415 *Coix lacryma-jobi* L. ジュズダマ

416 *Cymbopogon tortilis* (Presl) Hitchc. var. *goeringii* (Steud.) Hand.-

Mazz. オガルカヤ

417 *Cynodon dactylon* (L.) Pers. ギョウギシバ

418 *Digitaria ciliaris* (Retz.) Koeler メヒシバ

419 *D. radicata* (C.Presl) Miq. コメヒシバ

420 *D. violascens* Link. アキメヒシバ

421 *Dimeria ornithopoda* Trin. カリマタガヤ

422 *Eccoilopus cotulifer* (Thunb.) A.Camus アブラススキ

423 *Echinochloa crus-galli* (L.) P.Beauv.

イヌビエ, ノビエ, ケイツビエ

424 *E. oryzicola* (Vasing.) Vasing. タイヌビエ

425 *Eleusine indica* (L.) Gaertn. オヒシバ, チカラグサ

426 *Elymus racemifer* (Steud.) Tzvelev カモジグサ

427 *Eragrostis aquatica* Honda スマカゼクサ

大阪: II 類, 近畿: C.

428 *E. ciliaris* (All.) Link ex Janchen スズメガヤ

429 *E. ferruginea* (Thunb.) P.Beauv. カゼクサ

430 *E. minor* Host コスズメガヤ

431 *E. multicaulis* Steud. ニワホコリ

432 *Eriochloa villosa* (Thunb.) Kunth ナルコビエ

433 *Eulalia quadrinervis* (Hack.) Kuntze ウンヌケメドキ, コカリヤス

大阪: II 類, 近畿: C, 国: II 類.

434 *Festuca ovina* L. var. *coreana* (St.Yves) St.Yves オアウシノケ

グサ

435 *Glyceria ischyronura* Steud. ドジョウツナギ

436 *Hemarthria sibirica* (Gandog) Ohwi ウシノシッペイ

437 *Imperata cylindrica* (L.) Rausch. var. *koenigii* (Retz.) Pilg.

チガヤ, フシゲチガヤ, ツバナ

438 *Isachne globosa* (Thunb.) O.Kuntze チゴザサ

439 *Ischaemum aristatum* L. var. *glaucom* (Honda) T.Koyama

カモノハシ

440 *Leersia japonica* (Honda) Makino ex Honda アシカキ

441 *L. oryzoides* (L.) Sw. エゾノサヤヌカグサ

- 442 *Leptochloa chinensis* (L.) Nees アゼガヤ
 443 *Microstegium vimineum* (Trin.) A.Camus アシボン
 444 *M. vimineum* (Trin.) A.Camus f. *willdenowianum* (Nees) Osada
 ヒメアシボン
 445 *Miscanthus floridulus* (Labill.) Warb. ex K.Schum. et Lauterb.
 トキワススキ
 446 *M. sinensis* Anderss. ススキ, オバナ, カヤ
 447 *M. tinctorius* (Steud.) Hack. カリヤス
 448 *Panicum bisulcatum* Thunb. スカキビ
 449 *Paspalum orbiculare* Forst. スズメノコビエ
 大阪: II 類, 近畿: C.
 450 *P. thunbergii* Kunth ex Steud. スズメノヒエ
 451 *Pennisetum alopecuroides* (L.) Spreng. チカラシバ
 452 *Phalaris arundinacea* L. クサヨシ
 453 *Phragmites australis* (Cav.) Trin. ex Steud. ヨシ, アシ
 454 *P. japonica* Steud. ツルヨシ, ジンバリ
 455 *P. karka* (Retz.) Trin. セイタカヨシ, セイコノヨシ
 456 *Pleiblastus argenteostriatus* (Regel) Nakai f. *glaber* (Makino)
 Murata ネザサ, アカシネザサ
 457 *P. fortunei* (Van Houtte) Nakai ケネザサ
 458 *Poa acroleuca* Steud. ミゾイチゴツナギ
P. acroleuca Steud. var. *submontiformis* Makino
 タマミゾイチゴツナギ
 周辺地域での記録.
 459 *P. annua* L. スズメノカタビラ
 460 *P. sphondyliodes* Trin.
 イチゴツナギ, ザラツキイチゴツナギ, ヒメイチゴツナギ
 461 *Polypogon fugax* Nees ex Steud. ヒエガエリ
 462 *Pseudoraphis ukishiba* Ohwi ウキシバ
 大阪: 準, 近畿: C.
 463 *Sacciolepis indica* (L.) Chase var. *indica*
 ハイヌメリ, ハイヌメリグサ
 464 *S. indica* (L.) Chase var. *oryztorum* (Makino) Ohwi
 ヌメリグサ
 465 *Sasa veitchii* (Carriere) Rehder クマザサ, キンキザサ
 466 *Setaria faberi* R.A.W.Herrm.
 アキノエノコログサ, アキノエコログサ
 467 *S. glauca* (L.) Beauv. キンエノコ
 468 *S. pallidifusca* (Schumacher) Stapf et C.E.Hubb.
 コツキンエノコ
 469 *S. viridis* (L.) P.Beauv. エノコログサ
 470 *Sporobolus fertilis* (Steud.) Clayton ネズミノオ
 471 *Themeda triandra* Forsk. var. *japonica* (Willd.) Makino
 メガルカヤ
 472 *Trisetum bifidum* (Thunb.) Ohwi カニツリグサ
 473 *Zizania latifolia* Turcz. マコモ
 474 *Zoysia japonica* Steud. シバ
 Araceae サトイモ科
 475 *Acorus gramineus* Soland セキショウ
Arisaema thunbergii Blume subsp. *urashima* (H.Hara) H.Ohashi
 et J.Murata ウラシマソウ
 周辺地域での記録.
 Lemnaceae ウキクサ科
 476 *Lemna auiculicarpa* Beppu et Murata アオウキクサ
 従来アオウキクサとされていた植物には, アオウキクサ, ホクリクア
 オウキクサ, ナンゴクアオウキクサの 3 種が含まれていることが明らか
 になっている (別府ほか, 1985). 分布域から考えて, 信太山のもの
 はアオウキクサと思われる.
 Typhaceae カマ科
 477 *Typha angustata* Bory et Chaub. ヒメガマ
 478 *T. latifolia* L. ガマ
 Cyperaceae カヤツリグサ科
 479 *Bolboschoenus fluviatilis* (Torr.) Soak subsp. *yagara* (Ohwi)
 T.Koyama ウキヤガラ, ヤガラ
 480 *Bulbostylis densa* (Wall.) Hand.-Mazz. イトハナビテンツキ
 481 *Carex arenicola* Fr.Schm. クロカワズスゲ
 482 *C. breviculmis* R.Br. アオスゲ
 勝山 (2005) によれば, 人里に生育するアオスゲ類にはメアオスゲ,
 スカスゲ, ノゲヌカスゲなどの近似種がある. 同定が難しいので,
 再検討の必要があるだろう.
 483 *C. dispalata* Boott カサスゲ, ミノスゲ
 484 *C. doniana* Spreng. シラスゲ, ムシヤスゲ
 485 *C. gibba* Wahlenb. マスクサ
 486 *C. lanceolata* Boott ヒカゲスゲ
 487 *C. maculata* Boott タチスゲ
 488 *C. maximowiczii* Miq. ゴウソ
 489 *C. thunbergii* Steud. アゼスゲ
C. transversa Boott ヤワラスゲ
 周辺地域での記録.
 490 *C. tristachya* Thunb. モエキスゲ
 491 *Cyperus brevifolius* (Rottb.) Hassk. var. *leiolepis* (Franch. et
 Sav.) T.Koyama ヒメクグ
 492 *C. difformis* L. タマガヤツリ
 493 *C. flaccidus* R.Br. ヒナガヤツリ
 494 *C. flavidus* Retz. アゼガヤツリ
 495 *C. haspan* L. var. *tuberiferus* T.Koyama コアゼガヤツリ
 496 *C. iria* L. コモメガヤツリ
 497 *C. microiria* Steud. カヤツリグサ, キガヤツリ
 498 *C. nipponicus* Franch. et Sav. アオガヤツリ, オオタマガヤツリ
 499 *C. nipponicus* Franch. et Sav. var. *spiralis* Ohwi
 オオシロガヤツリ
 大阪: 要注目, 近畿: C.
 500 *C. orthostachyus* Franch. et Sav. ウシクグ
 501 *C. pilosus* Vahl オニガヤツリ
 502 *C. rotundus* L. ハマスゲ
 503 *C. sanguinolentus* Vahl カワラスガナ
 504 *C. serotinus* Rottb. ミズガヤツリ
 505 *C. tenuispica* Steud. ミズハナビ, ヒメガヤツリ
 506 *Eleocharis acicularis* (L.) Roem. et Schult. var. *longiseta*
 Svenson マツバイ
 507 *E. acutangula* (Roxb.) Schult. ミスミイ
 大阪: 絶滅, 近畿: A, 国: I B 類.
 508 *E. attenuata* (Franch. & Sav.) Palla セイタカハリイ
 大阪: 準, 近畿: C.
 509 *E. congesta* D.Don ハリイ, オオハリイ, ヤリハリイ
 510 *E. kuroguwai* Ohwi クログワイ
 511 *E. wichurae* Bockl. シカクイ
 512 *Fimbristylis autumnalis* (L.) Roem. et Schult. ヒメヒラテンツキ,
 クサテンツキ, ヒメテンツキ
 513 *F. complanata* (Retz.) Link ノテンツキ, ヒラテンツキ
 514 *F. dichotoma* (L.) Vahl テンツキ
 515 *F. diphyllodes* Makino クロテンツキ
 516 *F. dipsacea* C. B. Clarke アオテンツキ
 517 *F. littoralis* Gaudich. ヒデリコ
 518 *F. squarrosa* Vahl var. *esquarrosa* Makino メアゼテンツキ
 519 *F. subbispicata* Nees et Meyen ヤマイ
 520 *Machaerina rubiginosa* (Sol. ex G.Forst.) T.Koyama
 アンペライ, ネビキグサ
 大阪: I 類, 近畿: C.
 521 *Rhynchospora alba* (L.) Vahl ミカヅキグサ, ミカズキグサ
 大阪: 絶滅, 近畿: C.
 522 *R. chinensis* Nees et Meyen イヌノハナヒゲ
 523 *R. fujitana* Makino コイヌノハナヒゲ
 524 *R. rubra* (Lour.) Makino イガクサ
 大阪: I 類.
 525 *Schoenus apogon* Roem. et Schult. ノグサ
 大阪: II 類.
 526 *S. fuirenoideus* Maxim コマツカサススキ
 大阪: 準.
 527 *S. juncoideus* Roxb. イヌホタルイ
 528 *S. juncoideus* Roxb. var. *hotarui* (Ohwi) Ohwi ホタルイ
 529 *S. lineolatus* Franch. et Sav. ヒメホタルイ
 530 *S. tabernaemontana* Gmel. フトイ
 大阪: II 類.
 531 *S. triangulatus* Roxb. カンガレイ
 532 *S. wallichii* Nees タイワンヤマイ
 533 *S. wichurae* Bockl. アブラガヤ, アイバソウ
 534 *Scleria caricina* (R.Br.) Benth. カガシラ, ヒメシンジュガヤ
 大阪: 絶滅, 近畿: A.
 535 *S. mikawana* Makino ミカワシンジュガヤ
 大阪: I 類, 近畿: B, 国: I B 類.
 536 *S. parvula* Steud. コシンジュガヤ
 大阪: 準, 近畿: C.
 537 *S. rugosa* R.Br. ケシンジュガヤ, マネキシシンジュガヤ
 大阪: 絶滅, 近畿: A.
 Orchidaceae ラン科
 538 *Cymbidium virescens* Lindl. シュンラン, ホクロ
 539 *Epipactis thunbergii* A.Gray カキラン, スズラン
 540 *Habenaria radiata* (Thunb.) Spreng. サギソウ
 大阪: II 類, 近畿: C, 国: II 類.

- 541 *H. sagittifera* Reichb.f. ミズトンボ
大阪：Ⅱ類，近畿：C，国：Ⅱ類。
542 *Liparis nervosa* (Thunb.) Lindl. コ克蘭
543 *Platanthera minor* (Miq.) Reichb.f.
オオバノトンボソウ，ノヤマトンボソウ
544 *Pogonia japonica* Reichb.f. トキソウ
大阪：Ⅰ類，近畿：C，国：Ⅱ類。
545 *Spiranthes sinensis* (Pers.) Ames var. *amoena* (M.Bieberson)
H.Hara ネジバナ，モジズリ

Naturalized plants 外来植物

GYMNOSPERM 裸子植物

Podocarpaceae イヌマキ科

- 1 *Podocarpus macrophyllus* イヌマキ
逸出。

ANGIOSPERM 被子植物

Salicaceae ヤナギ科

- Salix integra* イヌコリヤナギ
周辺地域での記録，逸出。

Fagaceae ブナ科

- 2 *Quercus acutissima* クスギ
逸出。
3 *Q. phillyraeoides* ウバメガシ
逸出。

Urticaceae イラクサ科

- 4 *Boehmeria nivea* ナンバンカラムシ，カラムシ，マオ

Polygonaceae タデ科

- 5 *Fallopia convolvulus* ソバカスラ
6 *Persicaria vulgaris* ハルタデ
7 *Polygonum orientale* オオケタデ
8 *Rumex acetosella* ヒメスイバ
9 *R. conglomerates* アレチギシギシ
10 *R. crispus* ナガバギシギシ
11 *R. obtusifolius* エゾノギシギシ

Phytolaccaceae ヤマゴボウ科

- 12 *Phytolacca americana* ヨウシュヤマゴボウ

Nyctaginaceae オシロイバナ科

- 13 *Mirabilis jalapa* オシロイバナ

Molluginaceae ザクロソウ科

- Mollugo verticillata* クルマバザクロソウ
周辺地域での記録。

Caryophyllaceae ナデシコ科

- 14 *Cerastium glomeratum* オランダミナグサ
Silene armeria ムシトリナデシコ
周辺地域での記録。
Spergula arvensis ノハラツメクサ
周辺地域での記録。

Chenopodiaceae アカザ科

- 15 *Chenopodium ambrosioides* ケアリタソウ

Amaranthaceae ヒユ科

- 16 *Alternanthera sessilis* ツルノゲイトウ
17 *Amaranthus lividus* イヌビユ
18 *A. patulus* ホソアオゲイトウ
19 *A. retroflexus* アオゲイトウ，アオビユ
20 *A. viridis* アオビユ，ホナガイヌビユ

Ranunculaceae キンボウゲ科

- 21 *Ranunculus arvensis* イトキツネノボタン
22 *R. muricatus* トゲミノキツネノボタン

Nymphaeaceae スイレン科

- 23 *Nymphaea alba* スイレン
逸出。

Saururaceae ドクダミ科

- 24 *Saururus chinensis* ハンゲショウ，カタシログサ
逸出。

Theaceae ツバキ科

- 25 *Ternstroemia gymnanthera* モッコク
逸出。

Thea sinensis チャノキ，チャ

周辺地域での記録。

Cruciferae アブラナ科

- Brassica juncea* セイヨウカラシナ，カラシナ
周辺地域での記録。

- 26 *Conringia orientalis* ナタネハクザオ，マルバガラシ
27 *Coronopus didymus* カラクサナズナ

Draba nemorosa イヌナズナ

周辺地域での記録。

- 28 *Lepidium perfoliatum* コシミノナズナ

- 29 *L. virginicum* マメグンバイナズナ

- 30 *Sisymbrium orientale* イヌカキネガラシ

- 31 *Thlaspi arvense* グンバイナズナ

Hamamelidaceae マンサク科

- 32 *Distylium racemosum* イスノキ

逸出。

- 33 *Sedum mexicanum* メキシコマンネングサ

Pittosporaceae トベラ科

- 34 *Pittosporum tobira* トベラ

逸出。

Rosaceae バラ科

- 35 *Prunus persica* モモ

逸出。

- 36 *Pyracantha* sp. ビラカンサ

逸出。

- 37 *Rhaphiolepis umbellata* var. *integerrima* マルバジャリンバイ

逸出。

- 38 *Rosa laevigata* ナニワイバラ

逸出。

Leguminosae マメ科

Aeschynomene virginica アメリカクサネム

清水 (1990) にアメリカクサネムの記録がある。しかし，大橋・門田 (2002) によればこれまで日本でアメリカクサネムとして記録されたものはすべてクサネムを誤認したものとのこと。

- 39 *Amorpha fruticosa* イタチハギ，クロバナエンジュ

- 40 *Astragalus sinicus* ゲンゲ，レンゲソウ

- 41 *Desmodium paniculatum* アレチヌスビトハギ

- 42 *Medicago lupulina* コメツブツメクサ

- 43 *M. polymorpha* ウマゴヤシ

- 44 *M. sativa* ムラサキウマゴヤシ

- 45 *Melilotus indica* コシナガワハギ

- 46 *Robinia pseudoacacia* ハリエンジュ，ニセアカシア

- 47 *Trifolium dubium* コメツブツメクサ

- 48 *T. pratense* ムラサキツメクサ，アカツメクサ

- 49 *T. repens* シロツメクサ，オランダゲンゲ

Vicia dasycarpa var. *glabrescens* ナンクサフジ

周辺地域での記録。

Vigna umbellata ツルアズキ，カニメ，タケアズキ

周辺地域での記録，逸出。

Oxalidaceae カタバミ科

Oxalis articulata フシネハナカタバミ，イモカタバミ，フシネカタバミ

周辺地域での記録。

- 50 *O. corymbosa* ムラサキカタバミ

Geraniaceae フウロソウ科

- 51 *Geranium carolinianum* アメリカフウロ

Linaceae アマ科

- 52 *Linum virginianum* キバナノマツバニンジン

Euphorbiaceae トウダイグサ科

Euphorbia pilulifera シマニシキソウ

周辺地域での記録。

- 53 *E. supine* コニシキソウ

- 54 *Triadica sebifera* ナンキンハゼ

逸出。

Aceraceae カエデ科

- 55 *Acer buergerianum* トウカエデ

逸出。

Meliaceae センダン科

- 56 *Melia azedarach* センダン

逸出。

Malvaceae アオイ科

- 57 *Malva parviflora* ウサギアオイ，ヒメハイアオイ

- 58 *M. sylvestris* var. *mauritanica* ゼニアオイ

Cucurbitaceae ウリ科

- 59 *Sicyos angulatus* アレチウリ

Lythraceae ミソハギ科

- 60 *Ammannia coccinea* ホソバヒメミソハギ

Onagraceae アカバナ科

- 61 *Ludwigia decurrens* アメリカミズキンバイ，ヒレタゴボウ

- 62 *Oenothera biennis* メマツヨイグサ，アレチマツヨイグサ

- 63 *O. laciniata* コマツヨイグサ

O. laciniata var. *grandiflora* オオバナコマツヨイグサ

周辺地域での記録。

Umbelliferae セリ科

- 64 *Apium leptophyllum* マツバゼリ
65 *Bupleurum rotundifolium* ツキスキサイコ
逸出。

Oleaceae モクセイ科

- 66 *Ligustrum lucidum* Aiton トウネズミモチ

Gentianaceae リンドウ科

- 67 *Centaurium* sp. ベニバナセンブリの一種

Apocynaceae キョウチクトウ科

- 68 *Vinca major* ツルニチニチソウ

Rubiaceae アカネ科

- 69 *Diodia teres* オオフタバムグラ

Convolvulaceae ヒルガオ科

- 70 *Calystegia hederacea* コヒルガオ
71 *Convolvulus arvensis* セイヨウヒルガオ
72 *Cuscuta pentagona* アメリカナシガラ
Ipomoea hederacea アメリカアサガオ
周辺地域での記録。
73 *I. hederacea* var. *integriscula* マルバアメリカアサガオ
周辺地域での記録。

- 73 *I. purpurea* マルバアサガオ

- 74 *I. triloba* ホシアサガオ

Boraginaceae ムラサキ科

- 75 *Lithospermum arvense* イヌムラサキ
Symphytum officinale ヒレハリソウ、コンフリー
周辺地域での記録。

Verbenaceae クマツヅラ科

クマツヅラ属は近似種が多く、邑田 (2003) によってようやく整理された。過去の同定は混乱しているので、再検討が必要である。

- 76 *Verbena bonariensis* ヤナギバナガサ、サンジャクパーベナ
77 *V. brasiliensis* アレチバナガサ
78 *V. x incompta* ダキバアレチバナガサ
79 *V. litoralis* ヒメクマツヅラ、ハマクマツヅラ

Labiatae シソ科

- 80 *Lamium purpureum* ヒメオドリコソウ
Mentha spicata var. *crispa* オランダハッカ
周辺地域での記録。
81 *Physostegia virginiana* カクトラノオ、ハナトラノオ
逸出。

Solanaceae ナス科

- 82 *Solanum americanum* アメリカナスホオズキ
83 *S. carolinense* ワルナスビ、オオナスビ
84 *S. glaucophyllum* ルリヤナギ
逸出。

Scrophulariaceae ゴマノハグサ科

- 85 *Bacopa rotundifolia* ウキアゼナ
86 *Lindernia anagallidea* ヒメアメリカアゼナ
87 *L. dubia* アメリカアゼナ
88 *Paulownia tomentosa* キリ
史前帰化と考えられるが、桑島 (1990) では大阪府産植物として取り上げていないため、ここでは栽培逸出として扱う。
89 *Veronica arvensis* タチイヌノフグリ
90 *V. persica* オオイヌノフグリ

Plantaginaceae オオバコ科

- 91 *Plantago lanceolata* ヘラオオバコ

Campanulaceae キキョウ科

- 92 *Specularia perfoliata* キキョウソウ

Compositae キク科

- 93 *Achillea millefolium* セイヨウノコギリソウ
94 *Ambrosia artemisiifolia* var. *elatior* ブタクサ
95 *Artemisia annua* クソニンジン、ホソバニンジン
96 *Aster subulatus* var. *ligulatus* ヒロハハウキギク
97 *A. subulatus* var. *sandwicensis* ハウキギク
98 *Bidens frondosa* アメリカセンダングサ、セイトカウコギ
99 *B. pilosa* コセンダングサ
100 *Cirsium vulgare* アメリカオニアザミ
101 *Conyza bonariensis* アレチノギク
102 *C. sumatrensis* オオアレチノギク
103 *Cotula australis* マメカミツレ
104 *Crassocephalum crepidioides* ベニバナボロギク
105 *Erechtites hieracifolia* ダンドボロギク
106 *Erigeron canadensis* ヒメムカシヨモギ
107 *E. philadelphicus* ハルジオン、ハルジオン
108 *E. strigosus* ヘラバヒメジオン

- 109 *Gnaphalium calviceps* タチチコグサ

- 110 *G. pennsylvanicum* タチコグサモドキ、タチチコグサ
Helianthus strumosus イヌキクイモ
周辺地域での記録。

- 111 *Hypochoeris radicata* ブタナ、タンポポモドキ

- 112 *Lactuca scariola* トゲチシャ、アレチチシャ、トゲチシャ

- 113 *Rudbeckia hirta* var. *sericea* アラゲハンゴウソウ

- 114 *Senecio vulgaris* ノボロギク、コウベギク

- 115 *S. madagascariensis* Poir ナルトサワギク

- 116 *Solidago altissima*

セイトカアワダチソウ、セイトカアキノキリンソウ

Soliva anthemifolia シマトキンソウ、イガトキンソウ

周辺地域での記録。

- 117 *Sonchus asper* オオノゲシ

- 118 *Stenactis annuus* ヒメジオン

- 119 *Taraxacum officinale* セイヨウタンポポ

- 120 *Xanthium occidentale* オオオナモミ

Hydrocharitaceae トチカガミ科

- 121 *Egeria densa* オオカナダモ

- 122 *Elodea nuttallii* コカナダモ

Liliaceae ユリ科

- 123 *Hemerocallis fulva* var. *kwano* ヤブカンゾウ、オニカンゾウ

- 124 *Lilium formosanum* タカサゴユリ

Pontederiaceae ミズアオイ科

- 125 *Eichhornia crassipes* ホテイアオイ

Iridaceae アヤメ科

- 126 *Iris pseudacorus* キショウブ

- 127 *Sisyrinchium atlanticum* ニワゼキショウ

- 128 *S. graminoides* アイイロニワゼキショウ

- 129 *Sisyrinchium* sp. オオニワゼキショウ

Tritonia crocosmaeflora ヒメヒオウギズイセン

周辺地域での記録。

Gramineae イネ科

- 130 *Andropogon virginicus* メリケンカルカヤ

- 131 *Avena fatua* カラスムギ、チャヒキ

- 132 *Briza maxima* コバンソウ

- 133 *B. minor* ヒメコバンソウ

- 134 *Bromus catharticus* イヌムギ

B. rigidus ヒゲナガスズメノチャヒキ、オオキツネガヤ

周辺地域での記録。

- 135 *Dactylis glomerata* カモガヤ

- 136 *Eragrostis curvula* シナダレスズメガヤ

- 137 *Festuca arundinacea* オニウシノケガサ

- 138 *F. rubra* オオウシノケガサ

- 139 *Lolium x hybridum* ネズミソウムギ

- 140 *L. multiflorum* ネズミムギ、イタリアンライグラス

- 141 *L. perenne* ソウムギ、ライグラス

- 142 *L. rigidum* subsp. *lepturoides* ボウムギ、トゲムギ

- 143 *Panicum dichotomiflorum* オオクサキビ

- 144 *Paspalum dilatatum* シマズメノヒエ

- 145 *P. distichum* キシュウスズメノヒエ、カリマタズメノヒエ

- 146 *P. longifolium* ナガバズメノヒエ

- 147 *P. urvillei* タチスズメノヒエ

- 148 *Phalaris canariensis* カナリークサヨシ、ヤリクサヨシ

- 149 *Phleum pratense* オオアワガエリ、チモシー

- 150 *Poa pratensis* ナガハグサ

- 151 *Sorghum halepense* セイバンモロコシ

Vulpia bromoides イヌナギナタガヤ

周辺地域での記録。

- 152 *V. myuros* ナギナタガヤ

- 153 *V. octoflora* ムラサキナギナタガヤ

Palmae ヤシ科

- 154 *Trachycarpus fortunei* シュロ

逸出。

Cyperaceae カヤツリグサ科

Cyperus eragrostis メリケンガヤツリ

周辺地域での記録。

C. odoratus キンガヤツリ、ムツオレガヤツリ

周辺地域での記録。

Zingiberaceae ショウガ科

Zingiber mioga ミョウガ

周辺地域での記録、逸出。